

## 令和3年度介護支援専門員研修兼更新研修 専門Ⅰ プログラム

研修が長時間化するのを受け、島根県では一部の科目を eラーニングで行います。4月上旬の受講決定後、視聴できるか動作確認をしてください。

### 1 研修日時

会場	eラーニング	集合研修（Ⅰ期）	集合研修（Ⅱ期）	集合研修（Ⅲ期）
松江	4月10日～5月23日 午後12時迄	5月24日(月)～25日(火)	6月15日(火)～17日(木)	6月29日(火)～30日(水)
浜田	4月24日～6月6日 午後12時迄	6月7日(月)～8日(火)	7月26日(月)～27日(火)	8月9日(月)～11日(水)
出雲	5月22日～7月7日 午後12時迄	7月8日(木)～9日(金)	8月2日(月)～3日(火)	9月1日(水)～3日(金)

### 2 研修内容

※eラーニング視聴期間は、各会場ともに約6週間です。

#### 〔eラーニング〕

eラーニングとは、自宅や職場のパソコン（推奨）・スマートフォン等インターネットを介してwebサイト上の学習システムにログインし、動画を視聴して学習する方法です。そのため、eラーニングに必要となるインターネット環境やパソコン等を受講者自身で用意の上、申し込みを行っていただくことになります。

各自が所有するパソコン・スマートフォン等の操作方法や設定に関する質問についてはお受けできません。必ず購入先等にお問い合わせください。

- ・eラーニングを終了していない場合、集合研修は受講できません。
- ・eラーニングの受講期間の延長はいかなる理由があっても認められませんので、必ず期間内に受講を終えるように計画的に取り組んでください。
- ・進捗状況を事務局がチェックし、進捗状況によっては事務局から電話にて受講を促す事があります。
- ・各講義の後に確認テストがあります。全問正解しなければ終了したことになります。
- ・受講決定通知にあわせて個別にパスワードを送付します。そのパスワードを使いeラーニングを視聴します。2人以上で視聴されても、パスワードを入力した人のみの視聴となり他の方は未視聴（未受講）になるので、お気を付けてください。
- ・受講期間中は、eラーニング動画を繰り返し何度でも視聴できます。

#### 〔集合研修〕

集合研修とは、指定された日時・会場に受講者が集まって受講する方式です。

eラーニング後に受講します。

#### 集合研修会場

松江会場：くびきメッセ 5階 501大会議室（松江市学園南1-2-1）

浜田会場：いわみーる 4階 401研修室（浜田市野原町1826-1）

出雲会場：朱鷺会館 大ホール（出雲市西新町2丁目2456-4）

※それぞれの1日の講義・演習後には振り返りの時間を別途30分設けます。

#### 問い合わせ先

社会福祉法人島根県社会福祉協議会  
福祉人材センター 担当：加藤・永島  
〒690-0011 松江市東津田町1741-3  
いきいきプラザ島根 2階

TEL0852-32-5975 Fax0852-32-5956

ホームページ <https://www.shimane-fjc.com/>

## 【1】eラーニング（20時間程度）

- ② 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状（120分程度）
- ③ 対人個別援助技術及び地域援助技術（90分程度）
- ④ ケアマネジメントの実践における倫理（90分程度）
- ⑤ ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践（120分程度）
- ⑥-1 ケアマネジメントの演習「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」（120分程度）
- ⑥-2 ケアマネジメントの演習「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」（180分程度）
- ⑥-3 ケアマネジメントの演習「認知症に関する事例」（120分程度）
- ⑥-4 ケアマネジメントの演習「入退院時における医療との連携に関する事例」（120分程度）
- ⑥-5 ケアマネジメントの演習「家族への支援の視点が必要な事例」（90分程度）
- ⑥-6 ケアマネジメントの演習「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」（150分程度）
- ⑥-7 ケアマネジメントの演習「状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例」（30分程度）

注1) ①②等の番号はテキストの章の番号です。

視聴の順序は問いませんので、どの講義からでも始めることができます。

※各講義で使用したパワーポイントを添付しています。（④.⑥-7はありません）必要な方は、ご自身で印刷して使用してください。

## 【2】集合研修（37時間程度） 【1】のeラーニングをすべて視聴していないと受講できません。

- ① ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定Ⅰ（360分）
- ① ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定Ⅱ（360分）
- ② 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状（90分程度）
- ③ 対人個別援助技術及び地域援助技術（90分程度）
- ⑥-1 ケアマネジメントの演習「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」（150分程度）
- ⑥-2 ケアマネジメントの演習「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」（180分程度）
- ⑥-3 ケアマネジメントの演習「認知症に関する事例」（150分程度）
- ⑥-4 ケアマネジメントの演習「入退院時における医療との連携に関する事例」（150分程度）
- ⑥-5 ケアマネジメントの演習「家族への支援の視点が必要な事例」（150分程度）
- ⑥-6 ケアマネジメントの演習「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」（150分程度）
- ⑥-7 ケアマネジメントの演習「状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例」（150分程度）
- ⑦ 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習（120分）
- ⑧ 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り（120分）

### 3 研修記録シート（学習の振り返り）

eラーニング視聴後には、テキストと一緒に送付した「研修記録シート（学習の振り返り）」の記入をしてください。

各科目の見開きページ左側の研修記録シート2（評価）「受講前」「受講後」の数字は必須、「備考」は任意で記入してください。

各科目の見開きページ右側の研修記録シート3（振り返り）「内容」は必ず記入してください。

eラーニングのデータを研修以外の目的で使用することを禁じます(SNSに掲載すること等を含む)

《研修記録シート書き方見本》

#### 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを重点化し、継続的な実質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名: 専門研修Ⅰ【eラーニング】  
 科目名: ⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

視聴日 4/18 時間  ~   
 視聴場所

項目	受講前	受講後	実践評価 (5段階)	備考
記入日(入力日)	4/11	4/18		
① 個別支援における医療の関わりについて説明できる。	3	4		
② 医療機関や多職種に情報を提供する際の留意点について説明できる。	2	3		
③ 医療機関や多職種から情報を収集する際の留意点について説明できる。	2	3		
④ サービス担当者会議では役割を持って多職種との効果的な意見交換を実施できる。	2	3		
⑤ 地域ケア会議での効果的な協働の手法を説明できる。	3	2		

※評価は自己評価とし、5段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
 すべてで5  
 5 4 3 2 1  
 すべてで5  
 5 4 3 2 1  
 すべてで5

#### 研修記録シート3(振り返り)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを重点化し、継続的な実質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名: 専門研修Ⅰ【eラーニング】  
 科目名: ⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

視聴日 4/18 時間  ~   
 視聴場所

項目	内容
① あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	・主体者は利用者 ・利用者が主体性を発揮できるように支援することが、介護支援専門員の役割である。
② 得たことを実践でどのように活かそうですか	・利用は主体であることを、きちんと言語化し、利用者に伝え、理解してもらうことから始める。
③ 本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	・利用者が主体であること、利用者自身の課題目標・設定が一緒にできるような、多職種との連携が図れるようになる。
④ その他、この科目で感じたことは何ですか	・ケアマネジメントプロセスは、分かっているように思っていたが、きちんと押さえながら行っていないといけない、改めて感じたので、評価を3から2とした。